

# 平成27年度 林野庁中部森林管理局の重点取組

国有林野事業が一般会計化して3年目を迎える中、「公益重視の管理経営の一層の推進」、「森林・林業再生への貢献」、「山村地域の振興と森林の総合利用」の3つの柱の下、以下の事項に重点的に取り組めます。

## 1 公益重視の管理経営の一層の推進

### ① 「木曾悠久の森」の取組

天然ヒノキ、サワラ等からなる木曾地方の温帯性針葉樹林は、自然度の高い状態でまとまって非常に貴重なものとなっています。このような温帯性針葉樹林の保存・復元を目指し、森林の取扱い、実行体制等の方針を定めた管理基本計画を策定し、新たな保護林を設定するとともに、環境に配慮した事業を推進します。

また、本取組について地域の方々や関係者に理解を深めていただくため、現地見学会の開催や写真コンテスト等を予定しています。

※ここでいう木曾地方とは、長野県内の木曾谷及び岐阜県内裏木曾です。



「木曾悠久の森」の核心地域の森林

### ② ニホンジカ等被害対策の充実

現在、被害対策に取り組んでいる長野県内6地域、岐阜県内1地域に加え、新たに長野県木曾地域、岐阜県揖斐川地域及び中津川地域でも捕獲等の取組を開始します。また、改正鳥獣保護法の下で関係機関との連携を強化し、捕獲活動の支援及び実証、防護柵による高山植物の保護など効果的な対策に取り組み、その成果を地域の関係者に普及します。

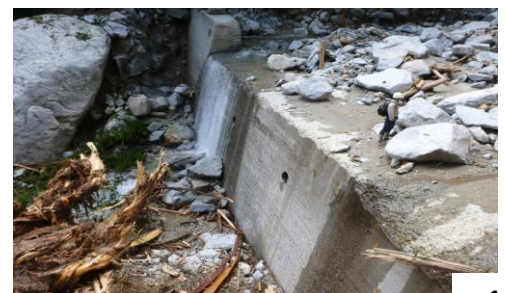


くくりワナによる捕獲

### ③ 山地防災力の強化

災害に強い健全な森林づくりを進めるとともに、緑の国土強靱化対策として、集中豪雨等で被災した荒廃山地の復旧整備や火山噴火に伴う土石流対策などの治山事業を推進します。

また、既存施設の長寿命化にも計画的に取り組めます。工事の実施に当たっては生物多様性への配慮や木材利用の推進に努めます。



長野県南木曾町土石流災害後の現地調査 -1-

## 2 森林・林業再生への貢献

### ① 森林資源の若返りの推進

将来にわたる森林の吸収作用の保全・強化を図る観点から、伐採と再造林により森林資源の若返りを図ることとし、立木のシステム販売、カラマツ採種園の再整備、コンテナ苗を活用した伐採・造林の一貫作業システムによる造林コストの低減等に取り組めます。



### ② 林業事業体の生産性向上

林業の成長産業化を図るためには、木材生産力の高い林業事業体を育成することが急務であるため、林業事業体の体制強化に大きく寄与する生産性の向上に取り組めます。



### ③ 木材の安定供給と需要の拡大

管内各地で大型の製材工場、木質バイオマス発電所が一斉に稼働を迎える中、立木及び丸太のシステム販売等による木材の安定供給に努めるとともに、関係機関と連携した木材の需要拡大に努めます。



### ④ 民国連携の推進

民有林との森林整備推進協定等を基に、国有林の中間土場の活用による流通経費の低減、民有林と一体となった木材のシステム販売等を実施するほか、民国の事業予定量の情報提供、林業事業体の育成、現地研修による人材の育成等に取り組めます。



### ⑤ 教育研究機関と連携した技術開発等の推進

森林総合研究所、管内の大学や試験研究機関等と連携し、技術開発や試験研究のためのフィールド提供や、協働による実証試験、研修等の実施により、民有林も含めた地域林業・林産業の課題への対応や人材育成等の取組を推進します。





### 3 山村地域の振興と森林の総合利用

#### ① 山村地域の振興に向けた取組

国有林が多く所在する山村地域の振興を図るため、地域の伝統産業や伝統文化にも資する森林の整備や木材の供給、貴重な景観や自然を有するレクリエーションの森等の最新情報の発信、NPOと連携した森林体感イベントなどの取組を実施します。

NPOと連携した自然観察会



#### ② 災害からの地域の復興支援

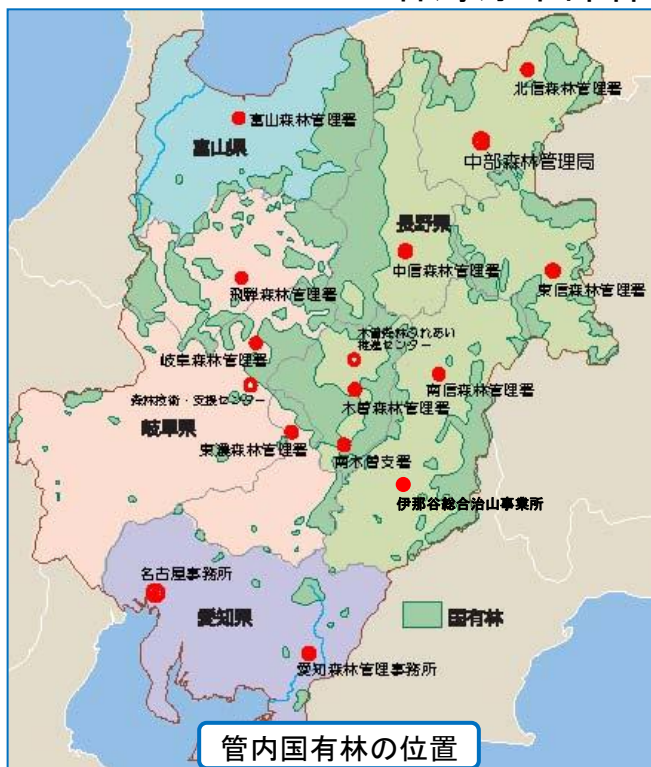
御嶽山の噴火をはじめとして昨年管内で発生した災害からの地域の復興を国有林として支援するため、貸付料の減免や国有林活用要望への対応、名古屋市民を対象とした森林見学会等の開催や木曽地域支援イベント開催等の取組を実施します。

また、治山ダムの設置等により噴火等に伴う土石流対策を実施します。



ツアー集合写真  
木曽町旧帝室林野局庁舎前

#### 林野庁中部森林管理局の概要



中部森林管理局は、富山県、長野県、岐阜県、愛知県の森林の約3割を占める約65万haの国有林を管理しています。

管内の国有林は都市近郊から「日本の屋根」と言われる日本アルプスの山岳地帯まで分布し、その多くは地形が急峻な脊梁山脈や重要な水源地に多くまとまっており、保健休養の場や豊かな野生動物の生息地として学術的にも重要な森林も多く含まれています。

さらに、利用期に達しつつある人工林からの木材の供給や歴史的・文化的建造物への材料の提供など多様な役割を担っています。

(お問い合わせ先)

〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5

林野庁中部森林管理局総務課

TEL 050-3160-6513

FAX 026-236-2733

URL <http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>

# 平成27年度 事業概要



## 林野庁 中部森林管理局

問合わせ先: 中部森林管理局 総務課 広報

TEL 050-3160-6513

FAX 026-236-2733

URL <http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>



# 目次

中部森林管理局管内の国有林の特徴	1
平成27年度中部森林管理局管内の取組	2
1. 公益重視の管理経営の一層の推進	3
① 計画的な森林整備の推進	3
② 山地防災力の強化	4
③ 生物多様性の保全の推進	5
④ 双方向の情報受発信	7
2. 森林・林業再生への貢献	7
① 森林資源の若返りの推進	7
② 人材の育成・市町村支援	8
③ 林産物の安定供給	8
④ 木材需要の拡大	9
⑤ 民国連携の推進	9
⑥ 技術開発	10
3. 山村地域の振興と森林の総合利用	10
① 森林とのふれあいの場の提供	10
② 森林づくり活動へのフィールド提供	11
③ 地域の伝統文化継承への貢献	11
④ 災害からの地域の復興	11
4. 参考資料	12
・管内国有林と自然休養林の位置	・国有林野の樹種別割合
・保護林の設定状況	・保護林面積
・各計画区の伐採量の計画	・人工林天然林別機能類型別面積
・保安林面積	・緑の回廊面積
・クリエーションの森面積	

# 中部森林管理局管内の国有林の特徴

中部森林管理局は、富山県、長野県、岐阜県、愛知県の森林の約3割を占める約65万haの国有林を管理しています。国有林は都市近郊から「日本の屋根」と言われる日本アルプスの山岳地帯まで分布し、その多くは地形が急峻な脊梁山脈や重要な水源地に多くまとまっています。人工林は、戦後に造林した資源が成熟期を迎え、木材として利用可能な森林が増えています。

また、保健休養の場や豊かな野生動植物の生息地として学術的にも重要な森林も多く含まれています。

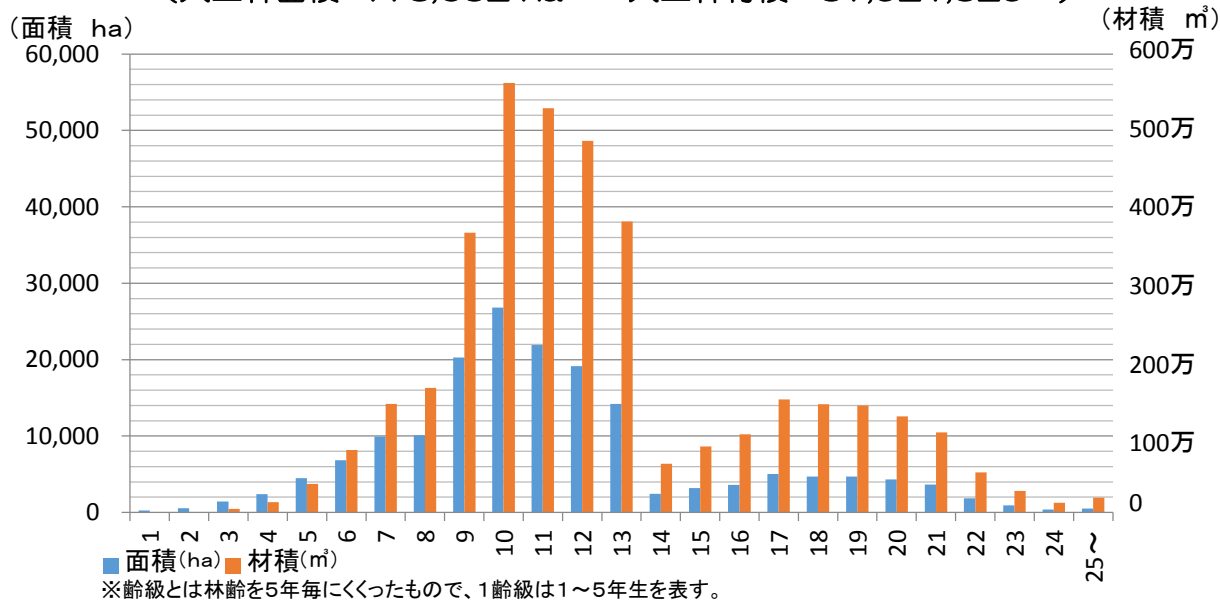
国有林の分布図



県名	面積(ha)	関係署
富山県	103,672	富山署
長野県	366,661	北信署、中信署、東信署、南信署、木曾署、南木曾支署
岐阜県	173,703	岐阜署、飛騨署、東濃署
愛知県	10,907	愛知事務所
計	654,943	

## 人工林齢級別面積・材積

(人工林面積 173,652 ha 人工林材積 37,921,329m<sup>3</sup>)



# 平成27年度中部森林管理局の取組

## 事業方針

国有林野事業は、一般会計の下での事業運営にあたって、公益重視の管理経営の一層の推進及び我が国の林業の成長産業化への貢献を旨として、民有林との連携に積極的に取り組みつつ、これまで以上に計画的かつ効率的な実行に努めます。

特に、平成25年12月に策定された「国有林野の管理経営に関する基本計画」、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に国産材の安定的・効率的な供給体制の構築への貢献や、森林吸収源対策への率先した取組などが掲げられていることを踏まえ、国有林の組織、技術力、資源を活かし、造林・間伐等のコスト削減や路網整備、木材安定供給をはじめ地域の森林・林業の課題解決のための取組について引き続き実績を積み重ねていくよう、局・署等が一体となってその推進に努めます。

## 1. 公益重視の管理経営の一層の推進

国有林には国土の保全や地球温暖化の防止などの公益的機能の発揮が求められており、国民の皆さんとの双方向対話を一層行いながら、各種計画に基づいた森林整備の実施、治山事業の効率的な実施による緑の国土強靱化対策の推進、保護林や緑の回廊等の生物多様性の保全、地域と一体となった鳥獣被害対策を推進します。

## 2. 森林・林業再生への貢献

戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎える中、我が国の林業の成長産業化に向け、計画的な主伐の実施、主伐後の確実な再造林に取り組むとともに、民有林と連携した施業の実施、国有林のフィールドや技術を活用した森林・林業技術者の育成や先駆的な技術・手法の事業レベルでの試行、生産性向上の実現に向けた取組や林産物の安定供給等に積極的に取り組みます。

## 3. 山村地域の振興と森林の総合利用

昨年度管内各地で発生した災害からの復興を国有林として支援するとともに、地域の伝統産業の育成等にも資する森林等の整備、地域の教育機関との連携やアンケート等を通じたレクリエーションの森の活性化をはじめ、林産物の安定供給、野生鳥獣への対策、国有林野の活用、人材育成を始めとした民有林への指導やサポート、民有林材を含めた木材の安定供給体制の構築など山村地域の振興に寄与する取組を推進します。

# 1. 公益重視の管理経営の一層の推進

## ① 計画的な森林整備の推進

☆ 森林整備に当たっては、山地災害の防止、水源涵養、地球温暖化防止等の公益的機能の維持・増進を図るため、地域管理経営計画等に基づいた保育作業を適切に実施するとともに、複層林・針広混交林化等多様な森林づくりを推進します。

また、地球温暖化防止に資するため、森林吸収源対策として引き続き間伐の実施を促進するとともに、将来にわたる森林の保全及び吸収機能の強化を図る観点から、主伐及び主伐後の確実な再造林を促進していくことにより、人工林の齢級構成の平準化を図ります。取組に当たっては、植栽時期を選ばないなどのコンテナ苗の特徴を活かし、伐採から植栽までの作業を一貫して行う「伐採・造林一貫作業システム」の導入等、低コスト化に資する施業技術の普及・定着に努めます。

### 27年度 主な事業量

使う



植付



(単位：ha)

区分	植付	下刈り、つる切り等	間伐
平成25年度	92	2,132	4,981
平成26年度	131	2,363	4,688
平成27年度	157	1,619	5,223

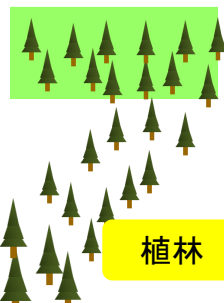
※平成27年度は当初予定（26補正含む）  
 ※平成26年度は実績見込、平成25年度は実績



下刈り

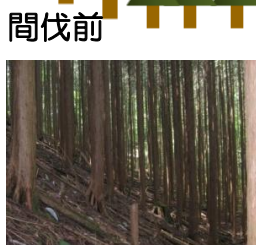


除伐



植林

間伐



保育



つる切り



## ② 山地防災力の強化

### ☆ 治山事業の着実な推進

安全・安心で災害に強い森林づくりのための効果的・効率的な治山対策や、集中豪雨等により被災した緊急性の高い崩壊地等の復旧対策、御嶽山噴火等に伴う土石流対策を26年度補正予算及び27年度予算等により着実に進めます。

また、災害に強い健全な森林を育成することにより緑の国土強靱化対策を進めるとともに、既存施設の長寿命化にも計画的に取り組みます。なお、工事の実施に当たっては生物多様性への配慮や木材利用の推進に努めます。

### 27年度 主な事業量

区分	溪間工(基)	山腹工(ha)	地すべり防止工(ha)
平成25年度	147	100	181
平成26年度	104	78	377
平成27年度	63	56	323

※平成27年度は当初予定（26補正含む）

※平成26年度は実績見込、平成25年度は実績



土石流を捕捉した溪間工  
(南木曾支署)



山腹工（木製土留工）  
(愛知所)



山腹工（岐阜署）



集水井工（中信署）

### ☆ 民有林直轄治山事業の実施

民有林において、災害復旧事業の規模が大きい場合や特に高度な技術を必要とする場合は、県からの要請に応じて中部森林管理局が直轄で治山事業を実施します。



長野県 小渋川地区  
(伊那谷総合治山事業所)



富山県 常願寺川地区  
(富山署)

### ☆ 災害発生時の迅速な対応

大規模災害発生時等は、専門家にもご協力いただき、ヘリコプターを使った調査や緊急対策工事、復旧計画の策定、復旧事業の実施などを民有林と連携して迅速に行います。



ヘリコプターを使った  
被害状況調査

御嶽山噴火への対応（木曾署）



監視カメラ等の機器による  
土石流発生の感知と情報提供



下流への火山灰や土石の流出を防止する緊急対策工事

南木曾町豪雨災害への対応  
(南木曾支署)



局管内治山技術者の応援  
による現地被害調査

### ③ 生物多様性保全の推進

#### ☆高山植物等保護の実施

・貴重な自然を有する上高地、立山、乗鞍岳などにおいて、登山利用の集中化等に伴う植生荒廃防止等を目的に巡視等を行うグリーン・サポート・スタッフ（GSS）により、現地の最新情報や活動状況等についてホームページでの情報発信に取り組みます。

・山火事や高山植物の盗採掘、廃棄物の不法投棄等の未然防止のため森林官等による国有林野巡視を行います。



GSSによるトレーディングカード配布  
(中信署)

GSSによる高山植物保護看板の修理  
(飛騨署)



#### ☆保護林のモニタリング

・国有林では、原生的な天然林や希少な動植物の生息・生育地等を対象に保護林を設定しており、保護林の現状を的確に把握するため、定期的にモニタリング調査を実施しています。調査は、地域管理経営計画樹立の前々年度にあたる森林計画区内の保護林において、設定したプロットでの森林調査（毎木、植物相）や利用動態に関する調査等を、原則5年前と比較できるように行っています。27年度は、伊那谷、木曾川、東三河の3つの森林計画区内にある保護林でモニタリング調査を行う予定です。



毎木調査  
胸高直径の測定

#### ☆自然再生事業の実施

・木曾駒ヶ岳や雲ノ平において、衰退した高山植物を復元する活動を、NPOやボランティア等と連携して実施します。



駒ヶ岳植生復元作業  
(木曾森林ふれあい推進センター)



雲ノ平植生復元現地検討会  
(富山署)



植物相調査  
下層植生の識別



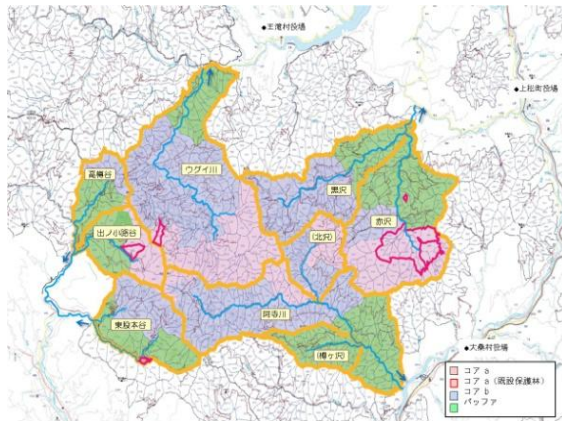
高山帯における踏査



## ☆「木曾悠久の森」の取組

・天然のヒノキ、サワラ等からなる木曾地方の温帯性針葉樹林は、自然度の高い状態でまとまって非常に貴重なものとなっており、この温帯性針葉樹林の保存・復元を目指し、平成25年度から検討を行ってきました。

平成27年度は、新たに3つの専門部会を設置し、①木曾悠久の森管理基本計画の策定、②新たな保護林の設定、③環境に配慮した事業の実行、④情報の発信を推進します。



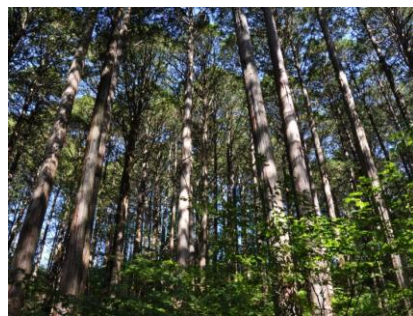
温帯性針葉樹林の保存・復元に向けた取組を行う区域のゾーニング



会議の様子（H26）



温帯性針葉樹林がまとまって成林する取組区域



## ☆ニホンジカ等被害対策の充実

地方自治体や学識経験者、NPO等と連携しながら、野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備事業として、長野県浅間、美ヶ原、霧ヶ峰、八ヶ岳、南アルプス、北アルプス（長野県側）、岐阜県七宗の各地域を指定し、生息状況の調査や防護柵の設置、個体数調整等の取組を行ってきました。

拡大する被害に対応するため、長野県木曾、南木曾、岐阜県揖斐川、中津川、天生でも生息調査、防護柵の設置、個体数調整を、イノシシ対策として、金華山、乗鞍で捕獲支援、移動拡散防止柵の設置を新たに始めます。

さらに、効率的かつ持続的なシカ管理体制をコーディネートする体制づくりとして、「森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業」を南信森林管理署管内で、引き続き実施していきます。



くくりワナ講習会（岐阜署）



初めて西穂高岳で撮影されたシカ（中信署）

## ④ 双方向の情報発信

- ☆ 国有林モニターによる現地見学会・モニター会議やホームページ等を通じて多くの情報の受発信を行い、より透明性の高い国有林野の管理経営を進めます。
- ☆ 森林計画の策定に当たり、国有林の森林資源や整備状況、利活用等に関する情報を広く提供するとともに、地域の方々との懇談会や現地見学会の開催、ホームページ等による意見募集を実施し、地域に根ざした幅広い情報や要請を森林計画に反映させるよう取り組みます。



東俣国有林モニター現地見学会  
(伊那谷森林計画区)  
(南信署)



地域住民との懇談会  
(中部山岳森林計画区)  
(中信署)



名古屋市熱田区白鳥地区の  
歴史を学ぶ地域の小学生  
(名古屋事務所)



地域住民への庁舎開放  
(夏休み子どもふれあいデー・局)

## 2. 森林・林業再生への貢献

### ① 森林資源の若返りの推進

☆ 地球温暖化対策として、政府では2020年度に森林吸収量2.8%以上（2005年度総排出量比）を確保する目標を立てています。このため、人工林の高齢級化に伴う吸収量の低下が見込まれる中、間伐の実施を促進するとともに、将来にわたる森林の吸収作用の保全・強化と林業の成長産業化を図ることを目的に、伐採（主伐）と再造林により森林資源の若返りを推進します。

具体的には、主伐を進めるとともに、立木のシステム販売、カラマツ採種園の再整備、コンテナ苗を活用した伐採・造林の一貫作業システム等の造林コストの低減等に取り組みます。



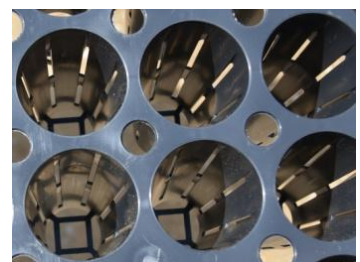
高齢級人工林



コンテナ苗



コンテナ苗



マルチキャピティコンテナ



## ② 人材の育成・市町村支援

☆ 森林・林業技術者の育成については、将来の森林総合監理士（フォレスター）候補者を育成する研修等を、国有林のフィールドと技術の提供により実施するとともに、各署等に森林総合監理士や准フォレスター等を配置して積極的に民有林行政への支援を行います。

また、大学等と連携し、将来の森林・林業技術者の育成に向けた取組も実施します。

☆ 民有林行政への理解等も具備した准フォレスター等が、県のフォレスター等と連携を図りつつ、国有林の持つ技術的な知見や情報を提供するなど、市町村森林整備計画の策定等への助言等の支援を行います。



技術者育成研修  
(森林技術・支援センター)



伐採・造林一貫作業システム現地見学会  
(愛知所)



インターンシップ  
(東濃署)



実践研修（採材方法等の検討）  
(森林技術・支援センター)

## ③ 林産物の安定供給

☆ 成熟期を迎えた人工林の若返りと林業の成長産業化を図るため、主伐や森林整備における間伐の結果得られる木材を林道等の路網を活用して低コストで生産・販売し、木材の安定供給に努めます。



スイングヤードによる集材  
(飛騨署)



ハーベスタによる伐採  
フォワーダによる積込（北信署）



林業専用道作設（岐阜署）

### 27年度 主な事業量

#### 伐採量と販売量

区分	伐採量 (m <sup>3</sup> )			販売量 (m <sup>3</sup> )	
	主伐	間伐	計	素材	立木販売
平成25年度	79,181	480,920	560,101	203,483	7,546
平成26年度	58,736	470,787	529,523	240,801	3,627
平成27年度	243,219	546,495	789,714	232,900	40,748

#### 林道の開設量

(単位: km)

区分	林業専用道
平成25年度	31.1
平成26年度	13.8
平成27年度	11.6

#### システム販売

区分	協定件数	数量(m3)
平成25年度	23	137,397
平成26年度	23	162,471
平成27年度	30	155,925

#### 森林作業道の開設量

(単位: km)

区分	森林作業道
平成25年度	285
平成26年度	318
平成27年度	339

## ④ 木材需要の拡大

☆ 木材需要の一層の拡大を図るため、需要情報を的確に把握し、需要に即した木材を安定的に供給します（システム販売の推進）。また、高齢級人工林ヒノキのブランド化をさらに進める取り組みを実施します。

公共施設や公共工事等の工事資材、現場事務所等の仮設資材への地域材の使用の拡大、木材の需要拡大の働きかけを行います。



東信署におけるシステム販売



国有林材を柱材として建設されたながと保育園（東信署）



地域材等を使用したコンクリート型枠合板（富山署）

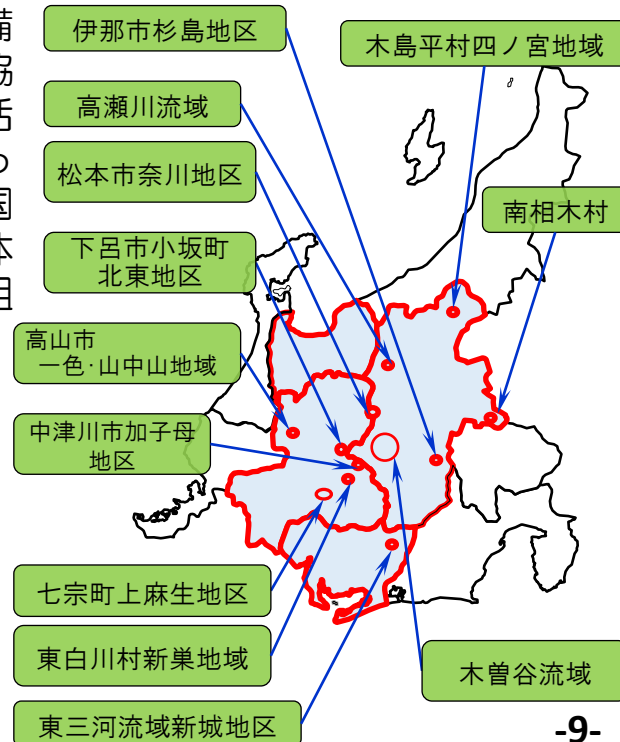


高齢級人工林ヒノキのブランド化（木曾署・南木曾支署）

## ⑤ 民国連携の推進

☆ 民有林の所有者と「公益的機能維持増進協定」を締結し、国有林と民有林の一体的な整備を進めます。また、民有林との森林整備推進協定等を基に、国有林又は民有地の中間土場の活用による流通経費の低減、民有林と一体となった木材のシステム販売等を実施するほか、民国連携による事業予定量の情報提供、林業事業体の育成、現地研修による人材の育成等に取り組みます。

### 《森林整備推進協定の締結状況》



七宗町上麻生地区森林整備推進協定の調印式（岐阜署）



木祖村 藪原土場（木曾署）



## ⑥ 技術開発

☆ 効率的・省力的な林業経営や、森林の整備・保全に関する技術・手法の普及を図るため、伐採と造林の一貫作業による効率化、コンテナ苗植栽による低コスト化などを、事業実行の中で実証・実践する技術開発に取り組みます。

これらについて、大学や研究機関とも連携して取り組むとともに、地域における民有林と国有林の技術情報等の共有を図ります。

### 平成27年度に取り組む技術開発課題

	技術開発課題	場所・森林管理署等 (国有林名)
1	ヒノキ、ナラ、ホオノキの混交植栽試験	岐阜署(本洞)、技セン
2	湿性ポドゾル地帯の更新法 一三浦・助六実験林一	木曽署(三浦、王滝)、技セン
3	伐採・造林の一貫作業システムの導入による低コスト造林の確立	北信署(霊仙寺山)、東信署(浅間山)、南信署(手良沢山)、南木曽支署(柿其)、飛騨署(保木脇)、東濃署(湯舟沢)、愛知所(段戸)、技セン
4	点状複層林の上木伐採試験	岐阜署(舞台峠)、東信署(奈良本山)、技セン
5	列状間伐地の2回目間伐手法について	中信署(検討中)、東信署(検討中) 南信署(検討中)、技セン
6	ヒノキコンテナ苗による低コスト再造林のための植栽・初期保育技術の開発	岐阜署(高天良・門坂)、東濃署(湯舟沢)、技セン
7	非皆伐施業(複層伐)における低コスト造林に向けた効率的作業システムの実践	北信署(池の沢)、中信署(唐沢)、東信署(西山)、南木曽支署(阿寺)、技セン
8	カラマツの天然更新と特性試験	東信署(浅間山)
9	二ホンジカ被害対策における省力化の検討(実証試験)	南信署(浦)、木曽署(小木曽)、飛騨署(鈍引沢)、東濃署(検討中)、技セン
10	二ホンジカ被害低減に向けた個体数調整方策について	東信署(大門山・和田山)、南信署(東俣) 岐阜署(七宗)、技セン
11	生産性向上に資する作業システムの確立	北信署、中信署、東信署、南信署、木曽署 飛騨署、岐阜署、東濃署、愛知所(各モデル事業地)、技セン



カラマツ腐心病の調査  
(東信署)



国有林現場の視察会  
(飛騨署)

## 3. 山村地域の振興と森林の総合利用

### ① 森林とのふれあいの場の提供

☆ 国民の保健、文化、教育の利用に資する自然休養林等のレクリエーションの森をより多くの方々に利用していただくためのPR活動等、地域の振興に寄与するための取組を地元関係者と連携しながら実施します。



信越トレイル整備  
(北信署)



高校生による  
大阿原湿原の整備  
(南信署)



地元小学生による  
レクリエーションの森の整備  
(富山署)

## ② 森林づくり活動へのフィールド提供

☆「国民参加の森林づくり」の活動を支援するため、「ふれあいの森」、「遊々の森」や「社会貢献の森」などの活動への技術支援や新たなフィールド提供、各種団体等への情報提供等のPR活動を市町村等と連携を図りつつ取り組みます。



「漁民の森林づくり活動」でのシロモジの除去作業  
(愛知所)



「裏木曾古事の森」育成協議会による見学会  
(東濃署)



森林ふれあい推進事業協定によるNPOとの連携イベント  
(中信署)



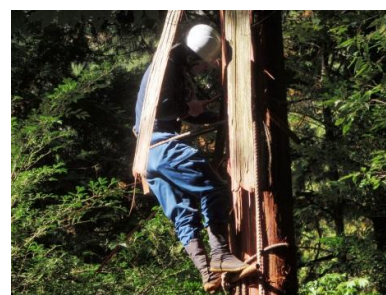
戸隠中学校による戸隠植物園巣箱掛け  
(北信署)

## ③ 地域の伝統文化継承への貢献

☆ 地域の伝統行事や文化の継承等に貢献するための活動への技術支援等を行うとともに、新たなフィールドの提供などに向け、市町村等への情報提供などのPR活動に取り組みます。



将来の御柱用モミの植樹  
(南信署)



檜皮の採取技術  
(南木曾支署)

## ④ 災害からの地域の復興支援

☆ 御嶽山の噴火をはじめとして昨年管内で発生した災害からの地域の復興を国有林として支援するため、貸付料の減免や国有林活用要望への対応、名古屋市民を対象とした森林見学会等の開催や木曾地域支援イベント開催等の取組を実施します。

また、治山ダムを設置等により噴火等に伴う土石流対策を実施します。



名古屋市街路でのPR



木曾・王滝復興支援イベント



治山ダムイメージ



# 4. 参考資料

## 各計画区の伐採・造林等の計画

計画区	関係署	計画期間	伐採計画量 (m <sup>3</sup> )			人工造林 (ha)	間伐面積 (ha)
			主伐	間伐			
神通川	富 山	H24.4.1~H29.3.31	19,600	0	15,342	0	157
庄 川		H26.4.1~H31.3.31	3,500	0	2,741	0	24
千曲川下流	北 信	H27.4.1~H32.3.31	260,800	75,404	157,275	103	1,604
中部山岳	中 信	H23.4.1~H28.3.31	264,000	13,281	225,729	26	2,647
千曲川上流	東 信	H26.4.1~H31.3.31	700,000	138,258	466,387	484	6,868
伊那谷	南 信	H25.4.1~H30.3.31	272,000	25,377	224,050	54	2,362
木曽谷	木 曽	H24.4.1~H29.3.31	465,400	47,362	366,196	62	4,328
	南木曽	H24.4.1~H29.3.31	308,000	44,866	248,648	68	2,375
	計		773,400	92,228	614,844	130	6,703
宮・庄川	飛 騨	H27.4.1~H32.3.31	680,000	104,607	504,500	184	6,569
飛騨川	岐 阜	H24.4.1~H29.3.31	210,000	90,402	106,316	138	1,037
長良川		H23.4.1~H28.3.31	18,500	4,900	11,527	3	111
揖斐川		H26.4.1~H31.3.31	12,500	8,482	2,755	16	29
木曽川	東 濃	H25.4.1~H30.3.31	205,000	91,817	97,501	147	764
尾張西三河	愛 知	H23.4.1~H28.3.31	27,280	6,227	17,363	12	184
東三河		H25.4.1~H30.3.31	162,300	82,728	64,618	224	656
年 平 均			740,040	154,745	502,733	304	5,943

※各計画区の数値は、5ヵ年分の計画総量を計上しており、伐採計画量には上記の主伐、間伐のほかに臨時伐採がある。  
 ※伐採計画量の年平均は、従来の年平均に当該変更計画による伐採量の増減量を残期間（数年）で除したものを加えて算出。

## 国有林の樹種別面積

単位：ha

樹 種	面 積	率
カラマツ	74,068.02	11%
ヒノキ	65,905.90	10%
スギ	20,921.40	3%
その他人	12,756.20	2%
天然林	362,885.85	55%
その他	118,405.91	18%
計	654,943.28	100%

## 人工林天然林別機能類型別面積

単位：ha

機能類型区分		合計							
		人工林		天然林		その他		計	
細分		面積	率	面積	率	面積	率	面積	率
山地災害防止タイプ	土砂流出・崩壊防備エリア	44,575	26%	178,492	49%	23,585	20%	246,652	38%
	気象害防備エリア	1,843	1%	13,223	4%	1,910	2%	16,976	3%
計		46,418	27%	191,716	53%	25,495	22%	263,628	40%
自然維持タイプ		565	0%	106,583	29%	80,140	68%	187,288	29%
森林空間利用タイプ		11,581	7%	22,420	6%	5,224	4%	39,225	6%
水源涵養タイプ		115,087	66%	42,167	12%	7,548	6%	164,802	25%
合計		173,652	100%	362,886	100%	118,406	100%	654,943	100%

※平成27年4月1日現在、森林調査簿データによる。  
 ※その他とは高山帯、林道敷等の面積である。  
 ※項目ごと単位以下四捨五入のため、計が一致しない場合がある。

## 保護林面積（142箇所） 単位：ha

保護林区分名称	面積
森林生態系保護地域	30,354
林木遺伝資源保存林	920
植物群落保護林	32,807
特定動物生育地保護林	1,385
特定地理等保護林	35,901
郷土の森	1,074
計	102,441

## 緑の回廊面積 単位：ha

名称（箇所名）	面積
越美山地	7,260
白山山系	23,517
雨飾・戸隠	3,792
八ヶ岳	5,832
合計	40,400

## 保安林面積 単位：ha

区分	面積
水源かん養保安林	444,009
土砂流出防備保安林	191,041
土砂崩壊防備保安林	502
防風保安林	3
干害防備保安林	372
なだれ防止保安林	155
落石防止保安林	24
保健保安林	205
風致保安林	161
計	636,471

※平成27年3月31日現在保安林台帳面積による  
 ※官行造林地面積含む  
 ※項目ごと単位以下四捨五入のため計が一致しない

## レクリエーションの森設定状況

区分	箇所数	面積
自然休養林	11	16,018
自然観察教育林	20	4,591
風景林	43	9,008
森林スポーツ林	7	306
野外スポーツ地域	20	3,411
風致探勝林	32	4,037
合計	133	37,372

※平成27年4月1日現在  
 ※レクリエーションの森施設数（単独施設）は含まない

- ①カヤの平 ②戸隠・大峰 ③湯の丸・高峰
- ④北八ヶ岳 ⑤赤沢 ⑥木曽御岳
- ⑦飛騨白山白川郷 ⑧御岳 ⑨付知峡
- ⑩定光寺 ⑪犬山・八曾

## ●自然休養林（11箇所）

